

てんかん認定通信

2017.3月 発行 てんかん院内認定看護師

JEPICA行ってきました



2017年2月18・19日、奈良春日野フォーラム 麓 I・RA・KAにてJEPICA（全国てんかんセンター協議会総会）2017が開催されました。年々、多くの病院が参加し、てんかん医療は患者さんのためにどうあるべきか、活発な意見が交わされています。

当院看護部からは、学会プログラム『てんかん患者に寄り添う“医療・福祉”の今後』に田尻院内認定看護師が参加し、『てんかん患者の社会参画に向けた啓発活動』の必要性を訴えました。昨今、多くのてんかんセンターが開設されていますが、当院は長い歴史と経験により、高度なてんかん医療を行う中で患者さんたちの苦悩に寄り添ってきました。患者さんたちの社会参画には、社会の偏見や誤った理解を正すことが必要であり、今後はてんかんセンターが力を合わせて啓発活動を行っていくことが大切との確認がされました。

ポスターセッションでは、看護師教育について3題、患者・家族教育について1題発表させていただきました。去年も教育の大切さを訴えさせていただいています。今年も重要なキーワードとして、看護部全体で取り組んでいきたいと思えます。

我々看護師は、患者さんが身体的、精神的、社会的に健康に暮らすことが出来るように、基本的な医療的知識とてんかんのスペシャルな知識を持ち合わせ、多角的な視点でアプローチしなければなりません。

これからも一緒に学び、努力していきましょう。

